



## TKK 共通シラバス

1. 科目名	社会貢献学入門		
2. 教員名	久田 嘉章	3. 担当大学	工学院大学
4. 対象学年	1年生以上	5. 開講時期	前期
		6. 単位数	2単位

7. 授業の目的・到達目標（神）、授業のねらい及び具体的な達成目標（工）、授業の概要（内容）・到達目標（東）			
<p>&lt;概要&gt;東北福祉大学・工学院大学・神戸学院大学による3大学連携プロジェクトの一環として開講する共通の授業科目であり、担当教員が各々の専門分野に関する授業を行う。神戸学院大学は人文・社会学分野から防災やボランティア、国際協力に関する地域貢献のための教育を、工学院大学は工学分野から防災・環境問題を捉え、地理情報システム（GIS）などを駆使した災害時の緊急対応訓練や地域と連携した実践的な教育を、東北福祉大学は福祉の分野からボランティアや防災等の活動や教育を紹介する。</p> <p>&lt;目標&gt;3大学がそれぞれの特色や強みを活かしつつ、文系と理系の融合により高度な社会貢献に関する研究・教育を行い、社会に貢献できる人材の育成をめざす本課程において、社会貢献を学問として学ぶうえでの導入的な役割を担い、基礎的な知識を広く身に付ける。</p>			
8. 授業のキーワード（神）			
社会貢献、防災・減災、ボランティア、国際協力、環境問題、防災訓練			
9. 授業の進め方（神）、授業の方法（東）			
オムニバス形式で行う			
10. テキスト、参考書、指定図書（神）、教科書・参考書等（東）			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト</li> <li>各TKKセンターを通じて講義資料を配布</li> </ul>			
11. 授業時間外に必要な学修（神）、事前・事後に受講してほしい講義等（東）			
【事前に受講してほしい講義等】			
【事前に受講してほしい講義等】			
12. 提出課題など（神）			
無し			
13. 成績評価方法・基準（神）、成績評価方法及び水準（工）、評価の方法・基準（東）			
<p>授業への参加態度 25%、課題提出 75%</p> <p>評価は講義に対する態度・姿勢、課題の提出、出席カードへの記載内容を総合的に評価します。</p>			
14. 履修するにあたって（神）、学生へのメッセージ（工）、授業時間外学習（予習・復習）・履修上の注意事項（東）			
この科目は開講大学以外の学生が履修する場合、オンデマンドでの開講となります。受講の方法などは各大学のガイダンスや講義の中で説明いたしますので、必ず詳細を確認し、履修登録を行ってください。			
15. 参考（ホームページ（神）、オフィスアワー（工）等）			
<a href="http://www.kobegakuin.ac.jp/~tkk/">http://www.kobegakuin.ac.jp/~tkk/</a>			

【授業計画（神）（東）、授業計画及び準備学習（工）】

講義番号	主題	内容
第1回 4/11	建築・都市の安全	工学院大学 村上 正浩 日常的に起きている火災や犯罪、頻発する自然災害を例に、建物や都市の安全について学ぶ。
第2回 4/18	福祉教育と社会貢献	東北福祉大学 阿部 利江 一人ひとりが互いを認め合う社会をめざし、「ひと」と「ひと」との関わりを大切にした福祉実践について学ぶ。
第3回 4/25	建物・まちと防災	工学院大学 久田 嘉章 震災や風水害などによる建築・まちの災害事例や様々な被害の軽減対策を紹介し、自助・共助・公助の役割と今後の課題を学ぶ。
第4回 5/2	海外支援活動の事例について	神戸学院大学 柴田 真裕 カンボジア王国、プノンペンで行っている支援の実際について紹介すると同時に、より良い支援のあり方を考える。
第5回 5/9	これからの災害に私たちはどのように身を守るのか	神戸学院大学 柴田 真裕 日本国内における近年の災害について紹介した上で、私たちはどのように身を守るべきなのか。ワークを用いながら考えてみる。
第6回 5/16	建て築く「もの」と「こと」	工学院大学 田村 雅紀 様々な建築材料が地球固有の資源からできていることを理解し、それにより成り立っている建築物を設計し、建設し、使用することの本質的な意味を学ぶ。
第7回 5/23	災害時要配慮者の支援	東北福祉大学 阿部 利江 災害時に支援を必要とする障がい者や高齢者の理解を深め、被災地の課題について学ぶ。
第8回 5/30	災害リスクと復興まちづくり	工学院大学 藤賀 雅人 東日本大震災のほか、近年の土砂災害・風水害を例に復興まちづくりの特徴を理解し、事前復興の重要性を学ぶ。
第9回 6/6	多職種連携とソーシャルワーク	東北福祉大学 菅原 里江 震災時の生活支援に不可欠な多職種連携は、平時の関係性が鍵となる。本講義では防災を切り口に、社会福祉の視点から多職種連携とソーシャルワークの役割を学ぶ。
第10回 6/13	災害とジェンダー	神戸学院大学 斉藤 容子 災害時において、社会的性差を意味するジェンダーがどのように関係するのか、これまでの災害事例をもとに紹介する。

第 11 回 6/20	コンピュータ活用による コミュニケーションの広がり	東北福祉大学 高橋 俊史 難病等で障がいを持った人がコンピュータを 活用することで社会参加の幅が広がります。 そのため、そのコンピュータの活用支援につ いて学ぶ。
第 12 回 6/27	建築・都市の環境	工学院大学 中島 裕輔 建築・都市における主な環境問題を把握し、 環境に配慮した建築・都市をつくるための基 礎知識を学ぶ。
第 13 回 7/4	新しい地域防災のかたち	東北福祉大学 水本 匡起 地形環境や生活・文化を通して、地域に寄り添 った「新しい地域防災の在り方」について考え ます。
第 14 回 7/11	NGO の行う社会貢献	神戸学院大学 吉椿 雅道 NGO の海外の自然災害の被災地での支援活動 と理念を通じて社会貢献を考えます。
第 15 回 7/18	海外の支援活動の事例	神戸学院大学 吉椿 雅道 ケーススタディとして、海外での復興支援活 動の詳細から支援とは何かを学びます。

### 【コンピテンシー】

本講義を通して身につけることが期待されるコンピテンシーは、以下のグラフを目安にしてください。

コメント
------

